

## 令和5年度の重点課題

## ○情意面での課題

- ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることに対して肯定的でない児童の割合が4.8%だった。
- ・体育の授業に対して肯定的でない児童の割合が2.4%だった。

## ○体力面での課題

- ・全8種目中男子が3種目に、女子が5種目に課題が見られた。一昨年度に引き続き、男女共通して「立ち幅跳び」の結果が県平均記録や全国平均記録を下回っており、県平均記録と比較すると男子が14.09cm、女子が13.78cm低く、男女ともに跳躍力及び筋パワーに課題があった。

## 上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

## ○体育の授業で取り組んだ事項

- ・アクティブラーニングプログラムの中から「言うこと一緒にやること」等の運動を取り入れ、楽しく運動することに対する意欲向上につなげた。
- ・運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画した。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげた。
- ・跳躍力を向上させるために準備体操で「ジャンプスクワット」や「カウントジャンプ」を取り入れ、運動量を増やし、運動機能を高められるようにした。
- ・なわとびを扱うときは、「タイミングよく跳ぶため」のポイントを指導した。
- ・学年に合わせて、各単元の指導が始まる前に伸ばしたい力の共有や確認を行い、その力にあった運動に取り組んだ。

## ○体育の授業以外で取り組んだ事項

- ・本校が週に1回行っている「ロング昼休憩」で普段の休憩で外遊びをあまりしない児童へで友達と体を動かして遊んでみるよう声をかけたり、クラス全員で遊ぶような内容を計画したりすることで、児童が体を動かすことは楽しいことだと感じられるようにした。
- ・マラソン朝会を全校児童で行い、基礎的な体力が育まれるようにした。

## 令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.38	18.55	31.21	38.97	40.31	9.65	152.07	20.17	50.78	第5学年	15.31	14.46	34.04	37.04	28.92	9.94	145.12	12.60	49.72

県平均値かつ全国平均値未満

## 令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.38	18.55	31.21	38.97	40.31	9.65	152.07	20.17	50.78	第5学年	15.31	14.46	34.04	37.04	28.92	9.94	145.12	12.60	49.72

県平均値かつ全国平均値未満

## 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	51.61	48.39	0.00	0.00	第5学年	42.86	57.14	0.00	0.00

## 学校独自の意識調査

単位 (%)	走ること				跳ぶこと				投げること				力を出すこと				体を柔らかく曲げること				素早く動くこと			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
低学年 男子	88	9	1	0	78	11	5	3	90	5	0	3	84	13	1	0	70	15	5	7	80	15	1	1
(1～3年) 女子	68	25	6	0	67	28	2	3	55	28	9	6	50	27	10	10	61	24	10	3	60	22	7	9
全体	76	19	4	0	71	20	3	3	61	20	5	5	63	22	7	6	66	20	8	5	67	20	5	6
高学年 男子	54	32	8	5	54	38	4	5	72	18	8	4	77	14	4	4	44	27	17	10	70	18	8	4
(4～6年) 女子	52	34	16	8	42	33	14	9	33	28	25	13	40	29	18	12	41	38	14	12	40	32	17	9
全体	53	33	13	6	48	34	9	7	53	22	16	8	58	22	11	8	42	32	16	11	55	25	12	6

## 重点課題

## 情意面での課題

## ○男子

- ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きではない児童は前年度に続いて見られないが、「好き」と答えた児童が約20%減少している。
- ・学校独自の意識調査において、低学年で運動領域ごとの運動をすることに否定的回答をする児童の割合は低く、10%以上となる種目は6領域中1領域で数値自体も低いが、高学年は4領域で否定的回答をする割合が高い。
- 女子
  - ・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きではない児童は前年度と比べて約6%減り、いなくなったが、「好き」と答えた児童が約7%減少している。
  - ・学校独自の意識調査において、低学年で運動領域ごとの運動をすることに否定的回答をする児童の割合は低学年、高学年ともに男子より女子が高く、高学年ではどの領域でも10%を上回り、最大で約38%の児童が運動をすることに否定的回答をした領域がある。

## 体力面での課題

- ・昨年度と比べ、男子は4種目、女子は3種目で県平均記録や全国平均記録を下回る種目数が増えた。特に、20mシャトルランでは男子は6.44回、女子は8.06回平均記録を下回っており、全身持久力に課題があるとみられる。

## 重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

## 体育の授業で行う取組内容

- アクティブラーニングプログラムの中から「ことろことろ」、「落とさず捕まえろ!」、「追って、追われて!」等の運動を取り入れ、楽しく運動したり、全身を動かす運動をしたりすることで運動に対する意欲向上につなげる。
- 運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導について事前に学年間で計画する。声かけなどの手立てを計画・実践することで、意欲向上につなげる。
- 学年に合わせて、各単元の指導が始まる前に伸ばしたい力の共有や確認を行い、その力にあった運動を行う。

## 体育の授業以外で行う取組内容

- 前年度に引き続き、本校が週に1回行っている「ロング昼休憩」で普段の休憩で外遊びをあまりしない児童へで友達と体を動かして遊んでみるよう声をかけたり、クラス全員で遊ぶような内容を計画したりすることで、児童が体を動かすことは楽しいことだと感じられるようになる。
- マラソン朝会やマラソン大会を計画、実施することで児童の全身持久力向上につなげる。
- 体育朝会を実施し、楽しく体を動かせる運動を紹介する。

令和7年度の  
重点目標値

- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の質問に対する肯定的な回答をする児童の割合が今後も100%にする。
- 体力テスト8種目中、3種類以上の種目で県平均記録・全国平均記録を上回る。